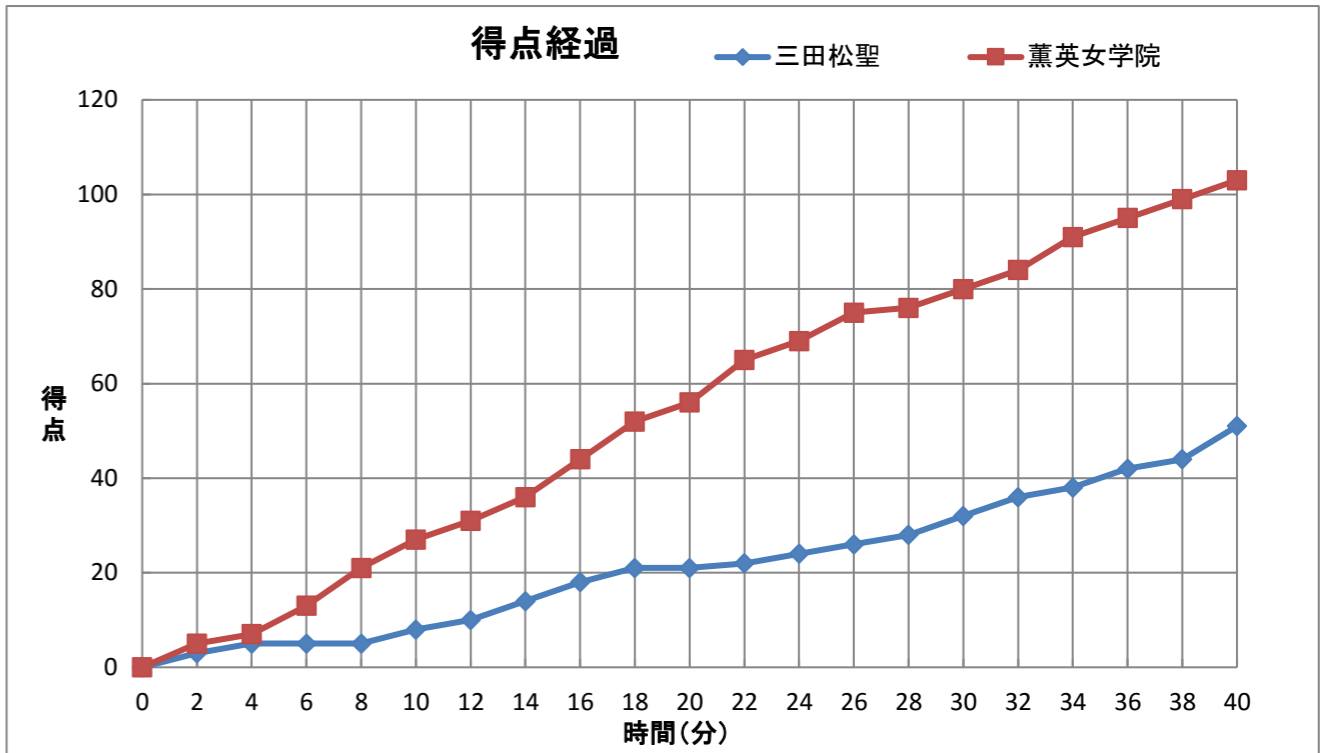




# 第70回近畿高等学校バスケットボール大会

## 個人トータル表

女子		令和5年6月25日		9:30 開始															
準決勝		ジェイテクトアリーナ奈良		B															
三田松聖 51		<table border="1"> <tr><td>8</td><td>1st</td><td>27</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>29</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>		8	1st	27	13	2nd	29	11	3rd	24	19	4th	23	103		◎ 薫英女学院	
8	1st	27																	
13	2nd	29																	
11	3rd	24																	
19	4th	23																	
(兵庫)				(大阪)															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
7	東 奈那	7	1	2	0	1	* 4	木本 桜子	6	0	3	0	0						
* 8	崔 璃陽	2	0	0	2	3	* 5	島袋 栞	12	1	3	3	1						
39	大西 葵	-	-	-	-	-	* 6	木本 桃子	10	0	5	0	1						
10	竹内 愛	0	0	0	0	3	7	吉田 華子	8	0	4	0	0						
* 13	竹中 凜	15	0	7	1	1	* 8	松本 莉緒奈	14	2	3	2	0						
88	小田 歩羽彩	-	-	-	-	-	9	岩井 萌	12	1	3	3	2						
* 16	東 寧音	5	1	1	0	0	10	下崎 好	8	0	3	2	2						
* 17	渡部 陽美	13	0	5	3	0	* 11	三輪 美良々	14	0	6	2	2						
30	花房 凜都	0	0	0	0	0	12	松本 汐音	2	0	0	2	1						
47	四谷 花音	0	0	0	0	0	13	村松 由梨	0	0	0	0	2						
55	中村 その	-	-	-	-	-	14	富田 涼々野	4	0	1	2	2						
56	阿部 芽奈	-	-	-	-	-	15	西澤 楽菜	0	0	0	0	2						
77	白箸 空知	0	0	0	0	1	16	荒木 琉伽	3	1	0	0	1						
79	木下 楓	7	0	2	3	2	17	兼田 紬奈	0	0	0	0	0						
* 85	初谷 一葉	2	0	1	0	0	18	黒川 春陽	10	0	5	0	1						
コーチ	初谷 洋志						コーチ	安藤 香織											
Aコーチ	有川 亨						Aコーチ	長渡 由子											
合計		51	2	18	9	11	合計		103	5	36	16	17						
クルーチーフ: 小出 聡子																			
1stアンパイア: 田中 真規							2stアンパイア: 太田 令菜												



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:29	:	26:17	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

第1Q  
両チームディフェンスはマンツーマンでスタート。大阪薫英#5島袋のバスケットカウントで得点すると三田松聖も#17渡部のバスケットカウントで返す。大阪薫英は長身を活かし、オフェンスリバウンドから得点を重ね、ディフェンスでは激しくプレッシャーをかけ、三田松聖の得点を許さない。三田松聖は3:31タイムアウトをとるも、勢いは止まらず8-27で大阪薫英がリードで第1Q終了。

第2Q  
三田松聖は#13竹中の長身を活かしたポストプレイ、#85初谷のバスケットカウントなどで追いつこうとするも、大阪薫英#8松本の3P、ミドルシュートなどで応戦し、点差を縮めさせない。三田松聖は1-3-1ゾーンディフェンスで流れを変えようとするも、大阪薫英の確率の高いシュートが決まり、21-56で大阪薫英がリードし、前半終了。

第3Q  
リズムを変えたい三田松聖は激しくディフェンスプレッシャーをかけ、#7東のスティール#17のリバウンドシュートなどで得点を重ねるも、対する大阪薫英も#8松本の3Pなど得点が止まらない。3:43三田松聖はタイムアウトで流れをきろうとするが、32-80で大阪薫英がリードを広げ第3Q終了。

第4Q  
三田松聖は、メンバーを変えながらも応戦し、#79の木下のバスケットカウントなどで得点し、追いつこうとするも大阪薫英の激しいディフェンスになかなかリズムが掴めない。最後までゲームの主導権を握った大阪薫英が51-103で勝利した。最後まで粘り強く戦った三田松聖に健闘を讃え、インターハイでの活躍を期待したい。

戦評: 福村 貴広      記録: 高田高校